

しらふじ

第90号

令和3年7月30日
発行/更生保護法人
しらふじ
発行責任者/大野美雄
編集責任者/松本英史

更生保護、再犯防止の取り組みについて 「しらふじ」は地域の支援受け活動 “卒業後”も拠り所に



※出席者間、距離を確保したり換気をするなど、3密回避に配慮した上で実施しています。

法務省松江保護観察所	西江 尚人	所 長
更生保護法人しらふじ	大野 美雄	理 事 長
出席者	同	矢野 喜郎
保 護 司	安藤 裕子	施 設 長

「しらふじ」の今と未来を語る皆さん(左から安藤、西江、大野、矢野の4氏)

2021年4月の異動で、西江尚人・法務省松江保護観察所長が着任されました。過去に松江保護観察所勤務のあった西江所長を交えて、「更生保護法人しらふじ」の現状やこれからについて、話し合いました。西江所長からは、地域との交流を大切にするなど「しらふじ」の良さや地域のボランティアなど多くの支援がある環境を生かし、更生を目指す人の社会復帰にさらに力を発揮してほしいとの期待が寄せられました。

西江 刑務所など矯正施設に収容される受刑者の約60%が再入者で、再犯防止が大きな課題となっています。刑務所から出所する際には、仮釈放と満期出所がありますが、なかでも満期出所者の再犯が多く、特に満期出所者の再犯防止に取り組んでいかなくてはなりません。

いかなくはと考えているところですが、利用対象者をより幅広く受け入れて行こうということ、高齢者の方や身体障がい、精神障がい、知的障がいなど障がいがあつて、特別な処遇の必要がある人の受け入れ指定施設に平成28(2016)年7月になっています。

大野 私たちは民間の施設ですの



「ギャンブル依存症への取り組みなど特色を生かした施設運営を」とアドバイスする西江所長



「利用者が再び犯罪をしないように…。そこが大きな課題」と語る大野理事長

で、利用者に対する委託費で運営し、それだけでは足りないので、地域から支援をいただき、駐車場など独自の事業もして収入を得て運営しています。利用率85%で予算を立てていますので、定員の50%では厳しい。近年は高齢者や障がい者など処遇の難しい人が増えてい

るのは事実ですが、なるべく受け入れていこうと。対応する現場の職員は大変ですが…。

安藤 私が保護司になった時は古い建物の時でしたので、暗いイメージがありました。新しい施設になり、周りには住宅が次々と建つなど近所の方から親しまれていて、職員さんをはじめ、いろいろと努力されたのだろうと思います。保護司の活動をする中で、担当する少年が就職の面接に行く

のに着ていく服（スーツ）がないということがあり、「しらふじ」に問い合わせたら、寄付してもらった服があつて、いただきました。少年はすごく喜んでいました。担当している中では、近年は中学の頃から荒れていた子というよりは、表面的には問題なく過ごしてきて、18、19歳になつて突発的に犯罪をしてしまい、事の重大性に驚くような子が多いですね。

◆◆◆ 地域と一緒に活動

西江 7年前初めて松江に来て、「しらふじ」を訪ねた時、お城があつて、緑があつて地域と調和した建物だとの印象をもちました。「しらふじ」は先進的に地域との融合を

掲げられ、関係団体の支援も熱心ですね。他の地域では、どうしても近隣との関係に課題がありますので、街の災害マップで地域の避難場所になつたり、「駆け込み110番」を掲げたりするなど地域との融合に工夫して取り組んでいます。

今の新しい施設が建てられる時、保護司や更生保護女性会等関係団体の方を中心に多くの方から寄付が寄せられたとうかがいました。これは地域性なのかと思いました。これ程までに多額の寄付というの

は、あまり聞いたことがありません。それだけ地域の応援が多いということでしょうね。

大野 更生保護施設と地域の関係については、前々理事長の福田和夫理事長の思いが反映されています。今の施設は平成25（2013）年に新築しましたが、地域からの反対はありませんでした。地域との融合を提唱してきた長年の取り組みの成果ではないかと、ありがたく思っています。全国の更生保護施設では珍しい4部会制を設け、その中の地域部会に町内との連携を図ってもらっています。今は町内の会合で施設を利用してもらい、災害時には町内の一次避難所になるなど地域と一緒に活動しています。

矢野 先日、地域の方からアジサイをいただきました。話を聞くと、20年前に「しらふじ」の利用者が植えたものとのこと、地域の方とのつながりを感じました。毎年

とです。

のバザーでは、利用者には販売担当や駐車場の担当などをしてもらっていますので、地元の人との会話や応対がいい勉強の機会になっています。地区公民館の催しや、地区の運動会のお手伝いを依頼されたりしますし、「しらふじ」での消火訓練なども地域の皆さんにも参加していただき、一緒に活動しています。施設に対する偏見は地域の方にはないように思います。

安藤 「しらふじ」を支援される女性ボランティアの皆さんを知っていますが、なんであんなに楽しく活動できるのだろうか…。いつまでも元気で見習いたいと思つています。更生保護女性会は、地域ごとに支部があり、それをまとめる全体組織があつてと、うまく機能しているように思いますね。

大野 かなり年齢の高い方でも、かわりをもつていただいて、援助してもらっています。ありがたいこと

矢野 元更生保護女性会のメンバーの方から、先日、寄付金とともに新品の靴を2足いただきました。娘さんと一緒に来所されたのですが、わざわざ途中で靴を買ってきたとのことでした。以前、利用者が仕事の面接に行くに当たつ



「しらふじで処遇してもらったから、大丈夫と思ってもらえるようになれば」と語る安藤さん

て、靴がなくて職員から靴を貸して欲しいと依頼されたことがあったということ、利用者が困らないようにと思われたそうです。本当に頭の下がる思いをしました。

大野 新型コロナウイルスの給付金で、国民1人当たり10万円が支給されましたが、あるご夫婦から、20万円の寄付をいただきました。また、毎月、2000円の寄付をされる女性もおられます。ありがたいです。私たち更生保護施設としては、利用者が再び犯罪をすることがないようにしていきたい。そこが大きな課題です。

❖ フォローアップが大切

矢野 「しらふじ」を「卒業」した人を継続して支援していくフォローアップ事業に取り組んでいます。訪ねてきた人の話を聞き、時には食料品など物資の支援をしています。社会復帰を目指していく中で、頼れる場所が必要です。職員は、ギャングブル障がい回復トレーニングプログラム(SAATG)の研修を受けていますので、ギャングブル依存症の人に対して、職員がそのプログラムを実施できるようにしていきたいと考えています。

大野 フォローアップには制度がで

きる前から取り組んでいて、退所者の中には定期的に職員を訪ねてきて、就職の報告をし、彼女ができたとか彼女を紹介しに来て、結婚して子どもが生まれたと、3人できてくれました。こうしたつながりを大事にしていきたいですね。

安藤 保護司をしていると、一度、罪を犯してしまうと、周囲の目がずつとついてくる。更生を目指す過程では、あの子、頑張っているよね、もつと広い視野で見たいですね。町内から出ていけばいいと思ってしまうと、行くところがなくて困ってしまう人が多い。皆をはじめていると、結局、誰もいなくなってしまう。そんな環境では更生に支障が出てしまう。罪を犯しても「しらふじ」で処遇してもらったから、大丈夫と思ってもらえるようになると思います。

西江 先日、松江市の島根県立松江工業高校の卒業生が「しらふじ」



地域との強いつながりを
協調する矢野施設長

に実習服を寄付されたことが新聞記事で紹介されていました。新聞の記事はインターネットでも紹介され、前任地の沖縄でも記事を読むことができました。こうした取り組みが広がっていくと、若い世代にも理解が広がっていくと思います。刑務所の満期出所者の受け入れでは、今後、就労が難しい人も出てくる

と思います。帰る場所のない出所者には拠点というか、拠点のような場所が必要です。更生保護施設を出た後でも、何か困ったら頼れる場所がある、こうしたフォローアップ事業は、再犯防止には効果的で、今、制度として取り組んでいます。「しらふじ」の目指す方向性としてはギャングブル依存症への取り組みや施設の職員の皆さんが相談しやすいなど、施設の特徴を出していければいいのではないかと思います。

大野 更生保護施設への利用希望者は、残念ながら都会の施設の方が多く、島根県の施設には、都会の施設が入所を断った人も少なからず来ます。高齢者や障がいのある人など社会の縮図を見るようです。それだけに、職員は気を遣い、大変なことが多いです。役員の皆さんには4つの部会を設けて、いずれか一つの部会に所属し

てもらい、部会長の下で活動してもらっています。理事や評議員の役員の皆さんにも活動を支えていただいています。

西江 更生保護施設の理事、評議員の部会制は「しらふじモデル」ですね。全国の施設でもなかなかそこまで踏み出せません。「しらふじ」では、関わる皆さんが何とか協力していこうという思いがあるから、できていると思います。

安藤 地域の会では名ばかりの役員が多いですが、「しらふじ」では皆さんが積極的にかかわっていることで、活動が支えられているのでしょね。職員さんを中心に利用者の処遇にもいい影響が出ていると思います。

西江 現在、立ち直りを目指す中で、被害者の立場に思いをはせ、内省を深めて再犯を防止する取り組みに力を入れています。課題に対してレポート提出を求め、それを基に面接を通じて内省を深めてもらうとともに、可能な限り被害弁償にも繋げる。こうしたプログラムについて「しらふじ」での取り組みを皮切りに、地域での指導にも広げていきたいと思っておりますので、どうぞご協力をお願いします。

元利用者の声



拝啓 しらふじ職員さま、お元気で過ごしのことと存じます。

私もおかげさまで元気でいます。ガードマンの仕事は朝が早いので大変です。でも、朝4時に起きて頑張っています。真面目に働くのは大変ですが、自分のために休まずに働いていますよ。

3月とはいえ、まだまだ寒い日が続きますので、職員の皆さまはお体を「自愛ください」ね。

敬具

(K・Oさん)

今、事業所で4時間の軽作業をしています。一日何百円の収入ですが、昼食はきちんとしたものが出来ます。

「しらふじ」で施設長から「お金を持っていなければいけない」と言われたことを守ったおかげで、レンジと冷蔵庫を買うことが出来ました。

(K・Uさん)

法話の集いに 参加して

五観の偈^げでは、改めて「食」の大切さと、口に入るまでに携わっていただいた方への感謝の気持ちを忘れないことの大事さを教えていただきました。

後一カ月で刑の満期を迎えます。残りの刑期を変わらぬに過ごすことはもちろん大切なことは違いありませんが、さらに大切なことは、これからもずっと周囲の方々に感謝しながら生きていくことだと再認識させられた貴重な時間となりました。

(K・Kさん)



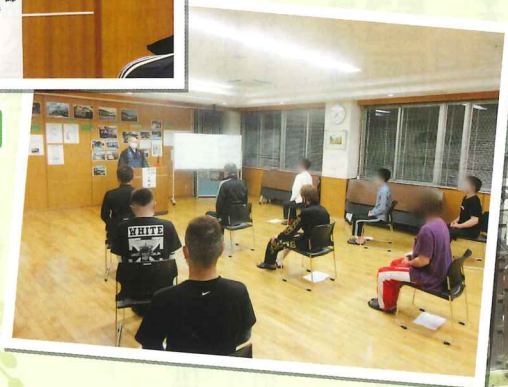
写真アラカルト



実習服のネーム外しをする川津更女の会 5月12日



法話の集い 5月23日



来所者

(敬称略)

- ◆ 奉仕作業 松江地区更生保護 女性会 津田支部 3名
- ◆ 法話の集い 洞光寺 諏訪弘史 師
- ◆ 松江保護観察所西江尚人所长
・須山齊司 観察官着任挨拶
- ◆ 松江少年鑑別所 佐藤弘明 所長着任挨拶

- ◆ 島根あさひ社会復帰促進センター 平床隆三 センター長着任挨拶
- ◆ 島根あさひ社会復帰促進センター 福祉担当研修 6名
- ◆ 松江刑務所 兒玉秀隆 所長着任挨拶
- ◆ 奉仕作業 松江更生保護女性会 川津支部 7名
- ◆ 法話の集い 安養寺 副住職 村上壮樹 師

- ◆ 年金のお話 阪本清 講師
- (令和3年1月1日～令和3年6月30日)



島根あさひ福祉担当研修

寄付金

(敬称略受付順)

- ◆ 西 億都
 - ◆ 金築育代
 - ◆ 株式会社松文オフテック
 - ◆ 松江地区更生保護女性会津田支部
 - ◆ 福代明正
 - ◆ 河野ヒロ子
 - ◆ 松江地区更生保護女性会川津支部
 - ◆ 石川正伸
 - ◆ 宮下淳子
 - ◆ 舟越憲雄
 - ◆ 佐田地区更生保護女性会
 - ◆ 田中 廣
 - ◆ 美保関地区更生保護女性会
 - ◆ 松江地区更生保護女性会大庭支部
 - ◆ 阪本 清
- (令和3年1月1日～令和3年6月30日)

寄付品

(敬称略受付順)

- ◆ 浪花秀明 / 食品
- ◆ 山本壽子 / 餅・野菜
- ◆ 橋本忠夫 / お茶
- ◆ 西尾信樹 / 防寒着
- ◆ 石川咲子 / 洗剤
- ◆ 佐々木滋子 / 衣類
- ◆ 北原敦子 / 米
- ◆ 更生保護施設等支援協議会 (事務局 藤本晴男) / 食品類

助成金

(敬称略)

- ◆ 金森惣司 / 衣類
 - ◆ 沖田明子 / タオル・衣類
 - ◆ 高木早苗 / 作業着
 - ◆ 陶山和實 / マスク・布団
 - ◆ 吉野光徳 / 鮭・野菜
 - ◆ 島根春恵 / 作業着
 - ◆ 高橋良次 / カバン・靴下
 - ◆ 杉田 / 衣類
 - ◆ 須山 肇 / 衣類
 - ◆ 佐田地区更生保護女性会須佐支部 / 日用品・米
 - ◆ 齊藤俊作 / 書籍
 - ◆ 島根県立松江工業高等学校 / 実習服
 - ◆ 河野ヒロ子 / 果物
- (令和3年1月1日～令和3年6月30日)

しらふじ友の会

(敬称略)

- ◆ 更生保護法人島根保護観察協会 (令和3年1月1日～令和3年6月30日)
- ◆ 〔賛助会員〕
- ◆ 布志原進
- ◆ 内藤 昇
- ◆ 福岡典子
- ◆ 後藤 勇
- ◆ 〔普通会員〕
- ◆ 朝山一玄
- ◆ 勝部治良

支援事業所会

(敬称略)

- ◆ 藤原三葉
- ◆ 宮下敦子
- ◆ 橋本道子
- ◆ 〔特別会員〕
- ◆ 青木薫代
- ◆ 安来地区保護司会
- ◆ 平田地区更生保護女性会
- ◆ 舟越憲雄
- ◆ 林 守
- ◆ 〔法人会員〕
- ◆ カナツ技建工業株式会社
- ◆ 株式会社日新電工
- ◆ 曹洞宗保護司連合会 島根県第二事務所支部
- ◆ 松江地区更生保護女性会 (令和3年1月1日～令和3年6月30日)
- ◆ 寄付金をいただいた
- ◆ 有限会社サインプラン
- ◆ 株式会社昭和建築
- ◆ 株式会社日新電工
- ◆ 株式会社伸興サンライズ
- ◆ カナツ技建工業株式会社
- ◆ 株式会社小草建築設計事務所
- ◆ 有限会社キョウワビルト工業
- ◆ 株式会社松文オフテック
- ◆ 株式会社ユニコン
- ◆ 福岡商事株式会社 (令和3年1月1日～令和3年6月30日)



恩田常務理事退任

平成19年から14年間「しらふじ」の会計事務責任者として、文字通り「縁の下」で支え続けていただいた恩田祥雄常務理事（84）が6月をもって退任されました。一番の苦勞は、やはり資金の工面。しかし、「お金がない分、もめ事もなかった」と、その苦勞も今は懐かしく、よき思い出とか。「お疲れさまでした」。

恩田さんが島根更生保護会の評議員に就いたのは平成18年9月。同じ保護司で、当時同会の常務理事を務めていた知人からの名指しでした。「言わば仕方なしですわ」。

右も左も分からない中でのスタートでしたが、翌19年5月に理事、その1カ月後には常務理事に就任します。数字とにらめっこが始まりました。

「お金が降ってくるわけではないから、役員が先頭に立って資金カンパに歩く、資金調達の方法を考え



「苦勞した資金の工面も良い思い出」と語る恩田さん

ねば…。「しらふじ」建設に向けての新しい資金計画ができたときは「難しかったぶん、うれしかった」と振り返ります。

常務理事として毎月1回の三役会に出席し、月に2、3回は会計事務処理をチェック。指導を受けた田中あずさ補導員は「収支から全体の伝票処理、仕訳が正しいのか、分からない処理は全部、恩田さんに聞きました。その都度、丁寧的に確に教えていただきました」

と感謝します。

一方、「しらふじ」でのそば打ち会では自らソバを打って利用者に振る舞いました。食べた利用者は一人残さず「うまい」と。「本職ではないから上手を言っているな」と言いながらもまんざらではない様子。年に1回、職のない利用者を自宅に招いて時給いくらで庭の掃除をしてもらい、昼には食事を提供する姿が、恩田さんの温かい人柄と重なり合います。

恩田さん、長い間、本当にお世話になりました。



ソバ打ち会で腕を振るう恩田さん

施設の運営にご協力をお願い

施設や事業の充実のために物品や資金が必要です。そのためご寄贈をお願いし、会員を募集しています。会員と年会費は下記のとおりです。

しらふじ友の会
会員の募集

- 賛助会員 2,000円以上
 - 普通会員 5,000円以上
 - 特別会員 10,000円以上
 - 法人会員 20,000円以上
- 入金及び寄付金振込先
ゆうちょ銀行(口座番号)
01450-1-30366
加入者名
更生保護法人しらふじ

詳しいことは、下記までおたずねください。
更生保護法人しらふじ 松江市奥谷町306-1
TEL 0852-21-5383 FAX 0852-67-5393
メールアドレス: shimanekouseihogokai@sage.ocn.ne.jp
H.P. アドレス: http://shirafuji-shimane.com

しらふじ 検索 でも検索できます。

白南天

社会の一線を退いて1年4カ月、新型コロナウイルスと重なったこともあり、外出する機会、人と話す機会が激減してしまいました。すると、体調のほうまでおかしくなり、足や腰をさする日々が続いています。そんな中、元気をもらい、めっきり減った家族との会話を弾ませてくれるスパーマンが現れました。シヨハイ・オータニ。そう、メジャーリーグで獅子奮迅の活躍を続けるエンジェルスの大谷翔平選手です。

選抜抜かれたメジャーリーグの選手の中でも投打に走塁に群を抜く存在の彼。この「しらふじ」が発行されるころは一体何本ホームランを打っているやら、何勝を挙げているやら。日米の野球ベースボールファンの枠をはるかに超え、日常会話に彼の話題が入らないことはありません。たぐいまれな能力はもちろんです。さわやかで明るいキャラ、ひたむきさ、他を思いやるやさしさなどが人々を惹きつけるのでしょう。

7月5日付の山陰中央新報に、法務省矯正局医師を務める、おたわ史絵さんの記事が載っていました。母が薬物依存症で日常生活を振り回されました。しかし「多くのことを学んだ」とも「分け隔てなく受刑者と接すれば、必ず社会復帰につながる」。他選手のバットをさりげなく拾い、グリップエンド側を向けてボールボーイに手渡す大谷選手の振る舞いを思い浮かべました。(瑛)